

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎中央

東京ITプログラミング&会計専門学校名古屋校

学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和4年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

宇野 旭 氏 税理士法人山田&パートナーズ 卒業生
 木村 泰輔 氏 有限責任監査法人トーマツ 中京リスクアドバイザー
 野村 健典 氏 MAC&BP ミッドランド税理士法人 経営支援部
 古川 太一 氏 株式会社日本旅行 名古屋法人営業支店 営業2課 課長

<事務局>

金子 徹 校長
 麻生 敏明 教務部課長
 吉田 行雄 教務部課長
 水落 克己 教務部課長
 田村 勉 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか 教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、人格の陶冶と簿記、会計、情報処理及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的としている。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か 公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験、旅行業務取扱管理者試験などの国家試験や日本商工会議所簿記検定などの資格試験の合格者を輩出しており、民間企業就職率も高い実績をあげている。これらは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが大きい。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材、特色将来構想などが学生、保護者等に周知されているか 学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、受</p>

	<p>付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>これら、理念、「ゼミ学習」による授業運営及び基本目標については教職員に周知徹底し、学生、保護者等にも周知に努め、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。なお、今年度におけるゼミ学習については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に講じて実施している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>「ゼミ学習」により、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、民間企業就職実績が両立している。また、育成人材が業界ニーズに向けられるように、例年開催している学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通じて業界の方々の意見を取り入れてカリキュラム編成を行い、見直しを行っている。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ゼミ学習が前面に出ている点と各学科の目標がわかりやすい点が評価できる。</p> <p>(2) ゼミ学習をコロナ禍においても工夫しながら（アクリル板を利用して）行っている点は評価できる。</p> <p>(3) ゼミ学習に期待して入学している学生も多いと思われるので、その期待に応えている点は評価できる。</p> <p>(4) ゼミ学習において学生だけで解決させようとするとは別の方向に行ってしまう可能性もあるので、その点に注意をする必要がある。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、理事長からも繰り返し教職員に伝えられている。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織や意思決定機能は運営組織図に従い運営しており、各部署の役割と権限、人的体制を整えている。各部署では目標達成のために数値目標を明確にしており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されているが、学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、今後も改善を行っていく予定である。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職がおこない、学校間の調整は企画本部また学園協議</p>

	<p>会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか 喫煙所の撤去や新型コロナに伴う休校等の判断も愛知県の要請に従って遵守している。</p> <p>ヘ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 教育活動に関する情報公開については、資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。その際、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せている。</p> <p>ト. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 情報システムによる業務の効率化のため、学務システム（入試システム、学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化している。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) トについてコロナ禍においてVPN装置のセキュリティーをしっかりととしてサイバー攻撃に注意する必要がある。海外では教育機関が狙われた例もある。学校がそういった攻撃を受けてしまうと学校自体の評価を落とすことにも繋がってしまう。</p> <p>(2) ヘについて、情報化社会の中で正確な情報をタイムリーに提供することが、受ける側にとってはとても重要なので、今後もぜひ続けていってほしい。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れて、知識の習得を確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。</p> <p>ロ. 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 各学科の目標を明確にし、例年、企業の人事担当者を招いて行う学内就職セミナーで、企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p>

ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

各学科等のカリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。

ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。

ヘ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価・単位認定の基準は明確に定め、学則、専門課程便覧等で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。また、令和元年度よりGPAを算定するため、システムを改修し導入しており、GPAの算定についてホームページ上でも公開している。

ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。令和3年度はコロナ禍の影響による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間においても、対面授業、分散登校、そしてオンライン授業により全ての授業を実施することができた。また、オンライン授業についてはMicrosoft365 およびZoomを利用している。

チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。

リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

近年はコロナの影響でままならない部分もあったが年間を通じての自己啓発や、外部企業等と連携して研修を実施していく予定である。

	<p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) チについて、卒業生という立場から言わせてもらおうと、自分は3人の先生の授業を受けたが先生によって学生の吸収力が異なってしまうという現実はある。熱意が伝わってくる先生と伝わってこない先生はいる。適切でないというわけではないがそういう現実は無視するべきではない。</p> <p>(2) リについて、近年のコロナ禍において先生方も試行錯誤しながら例年通りの実績があげられるように取り組んできたと思う。研修という形が取られなかったとしても能力開発をしてきたと十分考えられるので、適切な4でもよいのではないか。</p> <p>(3) ロについて、社会のニーズはリアルタイムで変化していく。例えば、会計学科の学生であれば経理職を希望する学生が多いと思うが、経理の知識だけではなく周辺知識も必要となるので、視野を広げさせることも意識した方がよい。自分の例でいえば、税理士といえども人事労務を無視するわけにはいかないの、社会保険労務士の知識を持っているのとまったく知らないのではだいぶ違うので、資格取得まではいかなくとも基礎知識だけでも学んでおいた方がよいと思った。</p> <p>(4) 教育の熱量は合格・就職実績をあげることに向けられるべきではない。業界のニーズとは社会人として必要なスキルであり、それは知識だけでなくビジネスマナーなどを備えた人材である。したがって、業界のニーズを踏まえた教育機関としての人材育成が他校との差別化を図ることに繋がっていると思う。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>各学生が習得した専門知識を活かせる希望職種や希望企業への就職を果たすため、学生、クラス担任及び就職指導担当職員と連携して就職活動に取り組んだ成果が就職実績に表れている。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>独自の教育システムである「ゼミ学習」による授業運営により、国家試験等の各種資格試験において高い合格実績をあげることができている。</p> <p><情報管理学科、ITビジネス学科の資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>素晴らしい実績であることは間違いないが、特に高度試験の実績が素晴らしい。自分が社会人になってからその実績のすごさが改めて分かった。</p> <p><会計学科 資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>(1) 働きながら勉強する人が多い税理士試験で、在学中に5科目完成者が輩出されていることで入学者の目標が明確になる。採用する側の立場としてはこのように資格取得者が多数いるのは頼もしい限りである。</p> <p>(2) 税法科目に多数合格していることは素晴らしい。</p>

	<p><ビジネス学科 資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】 毎年素晴らしい合格実績・就職実績なので、これについては言うことはないが、逆に聞きたいのが、コロナ禍の中の鉄道業界や旅行業界への就職を学生がどう思っているのか（不安を感じていないか）を聞きたい。</p> <p>【回答】 毎日のニュースであったり、企業説明会での人事の方からの情報などにより現状を把握させている。学生には、「今は厳しい状況ではあるが採用がゼロになるわけではなく、今後はコロナ禍の中で厳選されていくだけである。企業が目標とするべきものは明示してくれるので、それに向かって頑張っていこう。」などと言い、学生のモチベーションアップを図っている。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか 一人も退学者を出さずことなく入学者全員を卒業させることが目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、学生に積極的に声をかけ、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録するなどして退学率の低減を図っている。無断欠席者には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>【委員による意見】</p> <p>(1) コロナ禍で大学生の退学が目立っている中、退学者が少ないのは素晴らしい。退学等の相談があった場合はどのように対処しているのか</p> <p>【回答】 「退学します」という相談は対処しようがないが、その前に相談できるような関係性を築くことを心掛け、「何でも相談してきてほしい」というスタンスを担任はとり、学生から相談があった場合には直ちに保護者に連絡をとるなど常に先手をとるようにしている。昨年より日常コミュニケーションチェック表により学生とのコミュニケーションが一目でわかるようになっており、担任、上司一体となって学生の変化にいち早く気付けるように心がけている。</p> <p>(2) オンライン授業によって資格取得率や退学率に影響はあったか。また、オンライン授業はプラスに働いたのか、それともマイナスに働いたのか。</p> <p>【回答】 特に資格取得率や退学率には影響はなかった。また、オンライン授業がプラスかマイナスかという学生にとってはその学生による（チャット等の方が質問しやすい学生もいるので）と思われる。いずれにしても、長期間オンライン授業を実施したわけではないので何とも言えない部分はある。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか 就職希望者には、就職相談室を設け、就職指導担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、企業研究、筆記試験対策、面接対策などの指導を行っており、近年はオンラインによる面接指導も実施した。また、例年、企業の</p>

人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。

ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか

学生の様々な悩みを解決していくため、それらの相談はまずクラス担任が受けるが、担任に話せない事柄もあり、その時は学生相談室を設けているので、学生が相談室の担当者に直接相談できる体制を整えている。

ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。また、令和2年度よりスタートした高等教育無償化の修学支援対象校として文部科学省より認定されている。

ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。新型コロナウイルス感染症対策として、校舎入口での検温および手指消毒、授業前の体調チェックシート記入、授業後の机イス、出入口の扉の取っ手、トイレ、エレベーターのボタンなど人が触れる箇所の消毒、また教室内やロビーの座席等は、ソーシャルディスタンスを保つようにしている。

ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか

課外活動として、クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動があり、それらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主だった活動はできなかったため、今年度は感染対策を十分に行い、課外活動を行っていく。

ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか

遠隔地出身者のための学生寮など学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。また、家庭内にWi-Fi環境が整っていない学生に対しては、モバイルルータやノートPCを貸し出し、オンライン授業を受講させた。

ト. 保護者と適切に連携しているか

保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うため、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付しており、必要に応じて保護者と面談を行っている。

チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の民間就職支援、公務

	<p>員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、例年多くの高校生が参加していたが、近年はコロナの影響もあり、例年より参加者数は減少している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>学生支援が充実しているからこそその実績だと思う。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っている。また、令和2年度に本館、別館共にWi-Fi環境を整備したため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備している。</p> <p>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ロがしっかりしていると保護者も安心する。</p> <p>(2) ロは学生の命を守るためにアップデートをしていく必要がある。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>各種資格試験においては、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せて載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと考えている。本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているのので、スムーズに情報が入手でき、LINE、Twitter、Facebook、YouTube、Instagramを利用した情報提供も行っている。令和2年度よりオンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っており、オープンキャンパスはYouTubeでも行っている。</p> <p>新入生に対して入学後行うアンケート結果では、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で参考になったとの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p>

	<p>(1) 信憑性の確保が適切な情報提供に繋がり、志望者や保護者の方にとっても有用な情報になっていると思う。</p> <p>(2) LINE、Instagram など生徒の目につきやすいもので情報提供を行っていることは有用だと思う。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>財務全般について少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要があり、予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定めている。予算の編成は適切に手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>私立学校法第 47 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) しっかり経営していると思った大学がいろいろと問題を起こしたりするケースもあるため、常に見られているという意識は忘れないようにするべきである。</p> <p>(2) コロナ禍において実績が残せているのも財政基盤がしっかりしているからと考えられる。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>職員には毎年愛知県県民生活部県民総務課人権推進室より講師を招いて人権研修を実施し、受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に参加させ、その結果を受けて資料を全職員に配布している。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報の取り扱いに関し、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。学生の個人情報については、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p>

	<p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 定期的に情報セキュリティーに関する研修棟は行った方がよい。</p> <p>(2) 個人情報はいくら注意しても 100%はないので、良い方法があれば教えてほしい。</p>
<p>基準 10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については、以前は学生のボランティア活動を奨励し、支援しており、学生は近隣の道路清掃をしていたが、近年はコロナの影響により実施していない。今後は状況に応じて実施していく方向で考えたい。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 現状ではやむを得ないと思うが、今後コロナが収束したら再開してほしい。</p> <p>(2) 人間性の教育にも繋がるので、ぜひその辺も意識して継続してほしい。</p>

〔総括的な意見〕

各評価項目の評価は「妥当」であると感じた。

コロナ禍において、オンライン授業と対面授業を併用しながらも例年通りの合格実績、就職実績をあげている点については、各職員の方の努力の賜物であり、学生から信頼されていることの何よりの証だと思う。今年度は、徐々にゼミ学習も復活しているようなので、一日も早く以前のような日常生活ができるようになることを願っている。職員の方は大変だとは思いますが、ぜひ学生の夢を叶えることに尽力してほしい。